

- 泉佐野市では、手入れ不足の人工林が増え、土砂災害の発生の危険性が高まっていることから、森林環境譲与税を財源として、将来経営が成り立つ森林に育てるため保育間伐を行っている。また泉佐野産材を活用した木材普及の促進も行っている。
- 令和6年度においては、上之郷地区の森林整備及び危険森林整備並びに木材普及の促進を行った。

□ 事業内容

1. 上之郷森林整備

・森林のもつ公益的機能の高度発揮を図ることを目的とし、本数調整伐後の間伐材を集造材及び運搬し、有効利用に資する取組みを行った。

【事業費】792千円（全額譲与税）

【実績】森林整備業務（集造材・搬出） 45.0立米

2. 危険森林整備

・樹木の高齢化や枯死及び放置林の増加による倒木・倒伏被害を未然に防止することを目的とし、択伐による森林整備を行った。

【事業費】3,256千円（全額譲与税）

【実績】林道水呑線危険森林伐採業務 68本

3. 木材普及促進

・泉佐野産材を活用した木育事業として、市立子育て支援施設などに対して木製品を贈呈した。

【事業費】1,419千円（全額譲与税）

【実績】木製品 32点



（森林整備業務）



（危険森林伐採業務）



（木製品作製業務）

□ 取組の背景

1. 上之郷森林整備

過年度にて地番参考図の作成及び意向調査を実施し、その後に立木の健全な成長の促進を目的とした森林整備を実施している。

2. 危険森林整備

倒木の可能性がある危険な放置林に対し、林道の車両通行の安全性を確保すべく、択伐により森林整備を実施している。

3. 木材普及促進

泉佐野産材をPRするとともに利用の促進を図るべく、木育事業を実施している。

□ 工夫・留意した点

上之郷森林整備及び危険森林整備においては、保育間伐した間伐材を有効利用するための取組を行った。また木材普及促進においては、要望リストから選定し、木製品の贈呈を実施した。

□ 取組の効果

上之郷森林整備では、本数調整伐を実施するとともに、間伐材を有効利用することができた。また危険森林整備では、林道の車両通行に対する安全性を確保することができた。

木材普及促進では、木のぬくもりを子供達に伝えるとともに泉佐野産材の有効利用をPRすることができた。

◇ 基礎データ

①令和6年度譲与額：15,850千円		②私有林人工林面積（※1）：875ha	
③林野率（※1）：35.3%		④人口（※2）：100,131人	⑤林業就業者数（※2）：4人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より